



2023年10月26日

各位

会社名 空港施設株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 田村 滋朗
(コード番号 8864 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員経理財務部長 小玉 滋之
(Tel 03-3747-0251)

2024年3月期 第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年5月11日に公表しました2024年3月期 第2四半期累計期間の連結及び個別の業績予想と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向等も踏まえ、通期の連結及び個別の業績予想を下記のとおり上方修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期累計期間の連結及び個別の業績予想と実績値との差異について

①2024年3月期 第2四半期 連結業績予想と実績値との差異(2023年4月1日～2023年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	13,011	1,272	1,226	817	16円32銭
今回発表実績(B)	13,114	1,926	1,941	1,241	24円77銭
増減額(B-A)	103	654	715	424	
増減率(%)	0.7	51.4	58.3	52.0	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期 第2四半期)	12,715	1,807	1,699	1,297	25円95銭

②2024年3月期 第2四半期 個別業績予想と実績値との差異(2023年4月1日～2023年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想(A)	11,003	1,018	697	13円92銭
今回発表実績(B)	11,339	1,587	1,044	20円83銭
増減額(B-A)	336	569	347	
増減率(%)	3.0	55.9	49.8	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期 第2四半期)	11,008	1,468	1,197	23円95銭

③差異の理由

コロナ禍からの経済活動の正常化が進んだことによる航空需要の回復に伴う、給排水事業の売上増があったことや、費用面において、電気・ガス料の単価が当初の想定よりも低い水準で推移したこと、修繕工事の一部が下期へ移行したこと等により、営業利益、経常利益、四半期純利益が、前回予想を上回る結果となりました。

2. 通期の連結及び個別の業績予想の修正について

①2024年3月期 通期 連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	26,054	2,111	1,984	1,296	25円90銭
今回修正予想（B）	26,037	2,764	2,664	1,681	33円53銭
増減額（B－A）	△17	653	680	385	
増減率（%）	△0.0	30.9	34.2	29.7	
（ご参考）前期実績（2023年3月期）	25,516	2,503	2,121	1,564	31円28銭

②2024年3月期 通期 個別業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想（A）	22,297	1,530	1,044	20円86銭
今回修正予想（B）	22,616	2,023	1,325	26円43銭
増減額（B－A）	319	493	281	
増減率（%）	1.4	32.2	26.9	
（ご参考）前期実績（2023年3月期）	22,102	1,876	1,418	28円35銭

③修正の理由

重点施策のひとつに掲げているノンアセット業務への積極的な取組みによる賃料収入の増加や航空需要の回復に伴う給排水事業の売上増を見込む一方、熱供給事業では従量料金の基礎となる原材料費（電気・ガスの想定単価）を精査し、従量料金単価減に伴う売上減を予想に織り込みました。結果、連結売上高は前回予想と同じ水準となりました。

一方、費用面については、経費節減に努めているほか、電気・ガス料の単価が当初の想定よりも低い水準で推移していること、修繕工事や諸経費の一部が来期以降にずれ込むものが生じたため、これらの要因を売上原価や販管費の減少に見込みました。

その結果、通期業績予想の営業利益、経常利益、当期純利益は、前回予想を上回る見通しとなりました。

3. 2024年3月期 期末配当予想について

上記のとおり、業績予想の上方修正をいたしますが、物価上昇や世界経済等の先行き不透明感から、今後の事業環境の変化については予断を許さない状況と考えているため、2024年3月期の年間配当14円（うち中間配当7円、期末配当7円）については、変更する予定はありません。

(注) 本資料に記載されている業績等の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値とは異なる場合があることにご留意下さい。

以 上